



# 大杉東小だより

令和7年1月31日 NO. 12

江戸川区立大杉東小学校 校長 高橋 真

## 2100年の江戸川区～明るい未来に向けて～

江戸川区は、2021年から「2100年の目指す姿」について、意見・アイデア募集やワークショップ等を重ね、「ともに生きるまちを目指す条例」を制定しました。その前文には、「ともに生きる。私たちは、一人ひとりを尊重し、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。」とあり、2022年に発行された「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」には、「人」「社会」「経済」「環境」「未来」の五つのジャンルで、2100年の「ともに生きる姿」が描かれています。

そして2024年には、区長主催の「2100年の江戸川区に関するワークショップ」が開かれ、小中学生（本校6年生代表児童も参加）が将来に向けてより良い江戸川区を残していくためのアイデアを出し合いました。また、10月には「今後の行政サービスの水準と区民負担に関する区民アンケート」が行われ（本校5・6年生全員が参加）、その結果、「中サービス・中負担」に決まり、12月には、今後の具体的な取組が「広報えどがわ（12月特別号）」で紹介されました。

12月の報道によると、2024年の出生数が前年比5.8%減の68万5千人になる見通しで、出生率は過去最低、少子高齢化がますます加速しているとのことでした。江戸川区においても、2010年には約9万5千人いた15歳未満の人口が、2060年には約6万8千人（3割減）との試算があり、小学校の数も現在の66校から、2050年に55校、2100年には30校に統廃合させていくようです。そして、15歳～64歳の生産年齢人口は、2010年の約45万人に対し、2060年は約36万人と2割以上減、逆に2010年約12万人であった65歳以上の老年人口は、2060年には約20万人と1.7倍増えるようです。人口減少に伴うリスクに備える様々な取組が期待されます。

このような時代を生き抜く子供たち。学校現場では「確かな学力（知）」「豊かな人間性（徳）」「健康・体力（体）」のバランスのとれた力『生きる力』の育成がますます求められています。経済成長を支える人材となる今の子供たちが、明るい未来を目指し主体的に学べるよう、今後も工夫・改善に努めていきたいと思います。

2月7日（金）から学習発表会が始まります。8日（土）には大勢の保護者の皆様、地域の皆様に参観いただこうと現在練習に励んでいます。ご期待ください。

### 次年度に向けて②

○通知表を年2回にします。

「通知よりも、より伝わる方法を」と考え、これまでの通知表『あゆみ』は、9月末と3月末にお渡しし、代わりに個人面談を7月と12月（希望制）に行うようにします。子供たちの頑張りへの評価は常時行うとともに、より客観的に学習の定着を見取ることができる業者テストも実施していきます。

○水泳指導は「7月末まで」とします。

今年度までの運動会は、松江四中の校庭をお借りすることから、6月中旬開催しており、水泳指導は20日前後から開始していました。次年度は、自校の校庭でできますので、運動会を5月31日（土）に予定しました。そのため水泳指導の開始を早めることができます。学習における水泳指導は1学期いっぱい、夏季水泳指導は7月末までとします。

○土曜日の学校公開（授業参観）は年3回、月曜日を振替休業日とします。

区教育委員会より「内容の充実、児童・教職員の週休日の確保、授業時数の積極的な削減」を目的に、これまで振替なしに行っていた土曜日の学校公開を、給食を実施することで振替休業日を設ける形に変更する旨通知がありました。現時点で、土曜日の学校行事と学校公開を以下の日程で計画しましたのでお知らせいたします。ご予定ください。

1学期：運動会（5月31日）、学校公開（6月14日）

2学期：学校公開（10月4日）、竹馬運動会（11月8日）

3学期：学校公開（1月17日）、学習発表会（2月14日）